

旧広島陸軍被服支廠の活用を考えるワークショップ

【Newsletter Vol.4（2022年10月発行）】

第4回 ワークショップ

資料1

日時：2022年8月27日（土）13:00～16:30

場所：広島県自治会館会議室・Zoomオンライン

参加者：26名

ワークショップの目的

本ワークショップでは、様々な世代の方々にご参加いただき、被服支廠の活用に向けて、何を大事に考えていきたい？、どんな活用のアイデアがある？といったご意見を広く集めていきます。

その結果は、旧広島陸軍被服支廠の活用の方向性に係る懇談会に提示しながら、「活用の方向性」の取りまとめに活かしていきます。

ワークショップのスケジュール

第1回

- ・ 検討スタート！まずは話してみましょ
- ・ 被服支廠のことを知りましょ
- ・ 被服支廠について、参加者の今の考えを集めてみましょ

第2回

- ・ 各種団体など、いろんな人の話を聞いてみましょ
- ・ 活用にあたって大事にすべき視点（大きな方針）などを話し合ってみましょ

第3回

- ・ 活用方策のアイデアをいろんな視点から出してみましょ

第4回

- ・ 「活用し続けるために必要なこと」について、考えてみましょ

第5回

- ・ 懇談会のメンバーとの意見交換など、ワークショップの結果を振り返り、広く発信していきましょ

今回の
ワークショップ

今回はこんな内容でした！

①被服支廠を“活用し続けるために必要なこと”を話し合いました！

被服支廠の活用に向けて、被服支廠の存在・価値を共有・広めるために（今から）できることについて話し合いました。



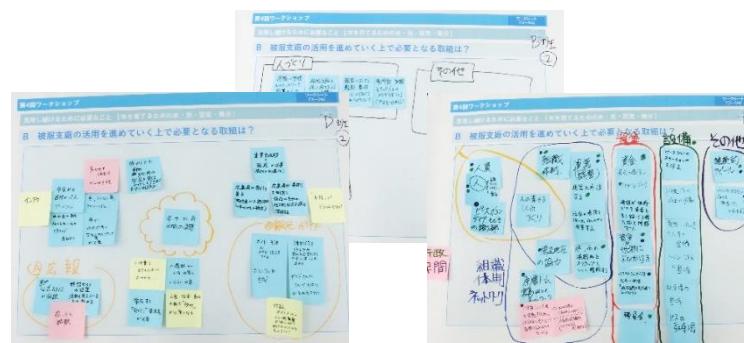
▲当日の成果（現地）



▲当日の成果（オンライン）

②被服支廠の“活用に向けて必要なこと、やれること”を話し合いました！

これまでのワークショップで頂いた様々な被服支廠の活用アイデアを踏まえ、アイデアの実現のために何が 필요한のか、何ができるのかを話し合いました。



▲当日の成果（現地）



▲当日の成果（オンライン）



▲ワークショップの様子（現地）



▲成果発表の様子（左：現地）



▲成果発表の様子（右：オンライン）

【① 被服支廠の存在価値を共有,広めるために今からできることは?】

自分ができること

分類		誰が, 何をする
広報 ・ 発信	HP	✓ 被服支廠活用に向けて公式HPをつくる
	SNS	✓ 公式SNSやYouTubeチャンネルを使って広める ✓ 各自のSNSやツイッターで発信する
	TV	✓ TV局等に番組やロケ地として施設内外を放映してもらう
	出版・ 広報	✓ 民間や行政にパンフレットを作成してもらう ✓ 町内会が回覧板でアピールする ✓ 被服支廠の本を発刊してもらう ✓ 市報や公民館など, 地元の方々へ向けた情報を発信する
	学校 ・ 教育	✓ 学生・学校を通じて校外学習や掃除を実施する ✓ 学校の回覧を活用し, 各家庭に紙媒体で発信する ✓ 小学校の社会科見学として, 学校や教育委員会の負担を軽減しながら導入しやすくするために, スモールパッケージ化したツアーを企画する ✓ 小学生に価値を伝えるために, ミステリーツアーを大学生が企画する
見学会		✓ 定期的に一般の人でも参加できる現地見学会(勉強会)を開催する
イベント		✓ 行政が主催・講演するイベント等で, 被服支廠を知ってもらうためのPRブースを出す ✓ 被服支廠でイベントやワークショップを開催する ✓ 図書館などの公共施設で被服支廠について展示する
観光 ガイド		✓ 被服支廠を観光バスの周遊ルートに追加する(観光事業者に打診する) ✓ 県外の方なども観に来ることができるよう, オンラインバーチャルツアーを開催する
設備を整える		✓ トイレなど最低限の設備を整えるためのリノベーションを行う

- その存在を私のグループ内にSNS等で知らせる
- SNSに「#被服支廠」でつぶやく

- 被服支廠の絵を描く
- 広告やパンフレットなどのデザインを描く
- 町内会や社会福祉協議会に協力を仰ぐ

- 建築学生を巻き込んで被服支廠活用のコンテストを実施する
- 全国の新聞部仲間に呼びかける

- 被服支廠のボランティアガイドをする
- 外国の方をガイドする
- 東北震災被災地の方々とのつながりがあるので, 広島に来られた際に案内する

- 東京蚤の市に何度も出店経験があり主催者ともつながっているので, 大規模の蚤の市を開催する
- 高校生へイベントを告知する
- 高校のPTAでの協力を仰ぐ

【② 被服支廠の活用を進めていく上で必要となる取組は？】

自分ができること

- イベント等を実施するために人や団体を巻き込み協働し、ネットワークをつくる
- 木製家具を販売する企業とのつながりがあるので、協力を仰ぐ
- 広島青年会議所として、イベントの企画・実行に携わる

- 投稿を拡散する

分類	主体(誰が)	何をする
人材・組織体制	行政・民間	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 語り部、観光ガイド等のボランティア人材を確保する ✓ 専門家や知識を持った人など、プロとのつながりをつくる ✓ 国，県，市，町，民間が連携する体制を構築する
	民間	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 樽募金のように，大手民間のニーズを聞きながら，民間を巻き込んでいく ✓ ガイドのグループをつくり，定期的に勉強会を行う ✓ スポンサーをつける（社員の方に優待券などの特典をつける）
	その他	<ul style="list-style-type: none"> ✓ ガイドや管理のNPO法人をつくる
人・空間のネットワーク	行政・民間	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 地元に着愛を持ってもらうために，近隣の学校とのネットワークをつくる ✓ 市電の駅から直行のバスやピーすくる（広島市のシェアサイクルシステム）を導入する ✓ 産業振興課を巻き込み，倉庫・冷凍庫であった特性を活用したテーマ性のある貯蔵庫として利用する（酒造×平和×鎮魂）
	行政	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 博物館をつくるために平和祈念資料館等，市との連携を進める
教育・体験	行政・民間	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 子どもへのアプローチとして，教育における題材として取り上げる
資金	行政・民間	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 建物を維持するための資金として，被服支廠で稼げるような機能を併設する ✓ クラウドファンディングで集める ✓ 被服支廠の家計簿づくりをする（将来の収益化まで話し合う場をつくり，ソフト・ハード等，異なる資金源ごとにチームを分けてみんなで集める）
	行政	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 条例を制定し，保存のための恒久的な財源を確保する ✓ 今まで被爆者の福祉として使われていたお金を建物に充てていく
設備	行政・民間	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 外からでも壁内の状況が見えるようにし，オープンな雰囲気にする
	行政	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 電気，水道，ガス，トイレ，洗面，駐車場などを整備する
情報発信	行政・民間	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 特設サイトを設置し，活用を考えていることを広める
その他	行政・民間	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 被服支廠の活用に向けた活動の頻度を決め，現実的にゆっくり開業する ✓ 公的資金を使わず，来訪者が持ち寄った本で，自分事になる図書館をつくる
	行政	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 重要文化財の指定を進める

旧広島陸軍被服支廠の活用を考えるワークショップ

【ワークショップと懇談会の集い結果報告（2022年12月発行）】

日時：2022年11月12日（土）14:00～16:00
場所：広島県庁 本館6階 講堂・Zoomオンライン
参加者：現地参加46名、WEB参加17名

ワークショップと懇談会の集いとは？

これまで被服支廠の利活用を検討してきた皆さまで集まり、検討状況と思いを共有するために実施しました！

旧広島陸軍被服支廠の活用の検討に向けて、これまで4回のワークショップを行ってきました。また、活用の方向性を検討するため、有識者等で構成する「懇談会」での検討も進んでいます。

2つの検討が進む中、ワークショップのメンバーと懇談会の委員で検討状況を共有し、メンバー間の交流を図る場として「ワークショップと懇談会の集い」を開催しました。



▲現地会場の様子

こんな内容でした！

これまでの検討状況の報告やワークショップメンバーによるプレゼンテーション、意見交換を行いました！

ワークショップと懇談会の集いは現地・オンラインを併用し、懇談会とワークショップでの検討状況の報告や、ワークショップメンバー代表者によるワークショップでの学びや意見交換を通じて考えた、自分自身でできそうなことについてプレゼンテーションしていただきました。

その後、ワークショップメンバー以外の県民の方々も参加し、これまでの検討内容やワークショップメンバーのプレゼンテーション、個々の被服支廠に対する思いなどについて、意見交換を行いました。

また、会場後方で模造紙にポストイットを貼って意見を述べることができる場も設けました。

有志で作成いただいた旧広島陸軍被服支廠の映像作品を紹介させていただきました！

被服支廠の建物内部に入ることができない中、被服支廠の魅力を伝えたいという思いから、(株)ニッショウプロ様に被服支廠の映像作品を無償で作成・ご提供いただいたことに対し、県から感謝状を贈呈し、映像をご紹介させていただきました。



▲(株)ニッショウプロ様に作成いただいた旧広島陸軍被服支廠の動画の様子

ワークショップメンバーなどの主な意見

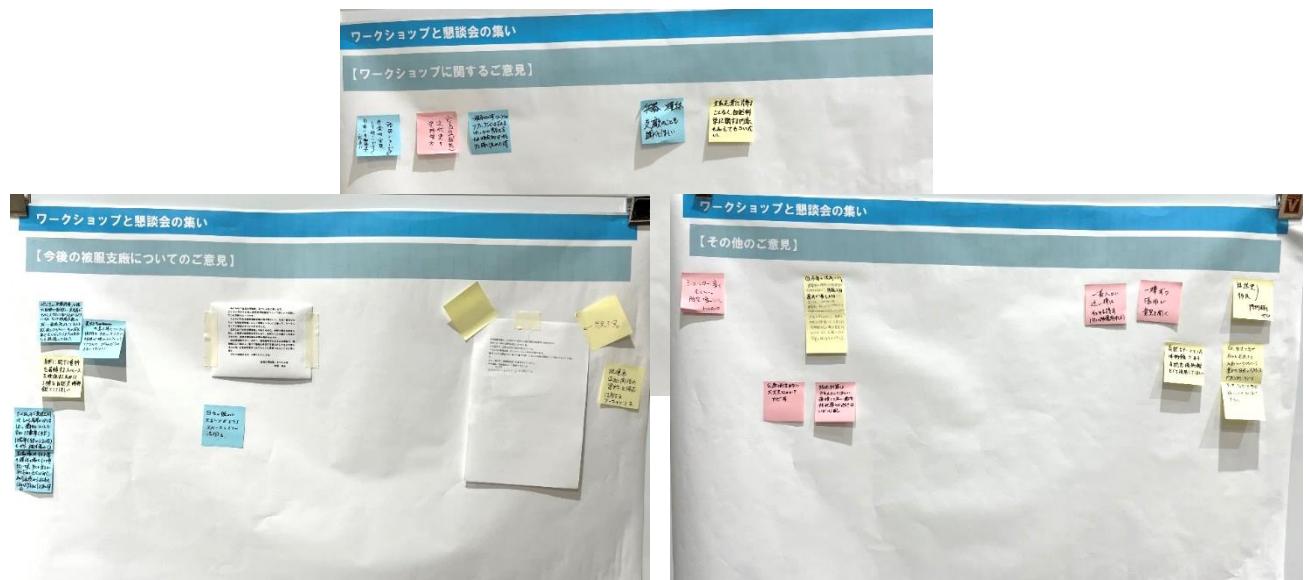
- ・ 歴史的価値を活かしながら、建物維持に必要な資金を得ることのできる持続可能な活用を進めることで、広島に元気を与える場とする必要があるのではないか。
- ・ 戦前、戦後の歴史、自然史、移民の歴史、原爆文学や資料の収集・貸出など、広島の歴史や平和の発信の場として活用する中で、将来的には世界遺産を目指してはどうか。
- ・ ワークショップで提案された宿泊・集客施設等の整備には、民間との協働による資本投入が必要ではないか。
- ・ 建物を知ることや興味を持ってもらうため、県民が「申請すれば見学し、使うことができる」ということや、県民参加型の寄付の仕組みを作ってはどうか。
- ・ 地域住民や皆実町商店街と共に、周辺の活性化やまちづくりに繋がる仕組みを考えてはどうか。
- ・ 1棟は建物の過去や魅力をそのまま伝える現状保存として、その他を美術館、ホテル、オフィスやアトリエなどに活用してはどうか。
- ・ 瀬戸内海に点在する旧軍の遺構を結ぶツーリズム商品を開発してはどうか。



▲ワークショップメンバーによる発表の様子



▲意見交換の様子



▲会場後方の意見共有のシート

ワークショップと懇談会の集い 第2部



▲第2部 交流タイムの様子



▲第2部閉会（中締め）後の交流タイムの様子